

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

法人名	社会福祉法人 泰斗福祉会	施設長 代表者	近藤 浩之	法人・ 事業所の 特徴	<法人の方針> ・私たちは、利用される方々の生活をスタッフが丸となって支え、共に笑顔のある毎日が送れるよう支援します。 ・私たちは、人が集まり、支え合い、開放感のある時間を共有して誰にも開かれた当たり前の生活を地域の皆様と共につくっていきます。 ・「風早に行けば何とかしてくれる」と思っていたようなサービスを提供します。 職員は、上記の理念を常に念頭に置き、行動します。					
事業所名	小規模多機能 にじいろ	責任者 管理者	宮本 武							

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1	1	3	0	1	1	0	3	0	10

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の 確認	今後も記録に関しては継続して行い現場職員に周知・共有していけるようにしていきます。 こまめにミーティングの時間をとり利用者様の情報共有だけでなく職員間の連携がとれるよう努めていきます。	月1回の職員会議以外に、ご利用者様のケアや支援方法、新規利用者様の受け入れに伴う事前のケアカンファレンスを朝や日中の空き時間を有効的に活用し、こまめに話し合いに取り組む事ができました。	事業所自己評価を事前にきちんと説明してから、地域かかわりシートを配布すべきだった。	各運営推進会議を活用しながら、改善計画についての取り組みや現状の課題等を随時発表していきます。また外部評価に関連した内容や項目に沿って、事前に分かりやすく説明した上で、地域かかわりシートを配布していきます。
B. 事業所のしつらえ・ 環境	今後は来訪者に対して施設玄関自動ドアの施錠に関しての説明が全職員ができるようにします。 にじいろの出入り口も事業所の活動・様子が分かるよう暖かい時期になれば開放します。 ②来客者への丁寧な対応や③研修会参加に関しては継続して行います。	外部からの来客者やご家族様に対して気持ちの良い挨拶や丁寧な対応を行いました。 同法人内の研修会へ積極的に参加し、自己研鑽に努めましたが、三交代の勤務形態の為、日勤者以外欠席になることが多かったです。	以前は自動扉が開かなかったり、入り口が暗かった。人がいるのか分からなかったこともあり。しかし、入り口や廊下が明るくなり、職員の態度も感じよく、明るく対応しているので良くなっています。	地域の方々に足を運んで頂けるよう、明るく入りやすい雰囲気作りに努めていきます。具体的に、事業所内外を自由に行き来できるよう、扉を開放します。入り口は施設の顔であり、来訪者への丁寧な対応は継続していきます。また事業所の入り口が分かりやすいように玄関入り口に看板を立てかけます。
C. 事業所と地域の かかわり	家族様とのやりとりが直接できるように送迎には現場職員が対応します。 「いきいきカフェ」を継続して地域の憩いの場として浸透し、地域とのつながりをひろげていきます。 職員間で気持ちの余裕がもてるよう業務改善や意見交換等を行い協力体制を整えて地域との関わりがもてるようにします。	送迎は、出来る範囲内で現場職員が行い、ご家族様へ利用状況をこまめに報告しました。また送迎や訪問時、ご家族様から問い合わせや相談等があった際は、例えば小さな事柄でも他職種や上司に報告・相談し、早めにご家族様に返答する事ができました。 毎月第3日曜13:00～16:00に開催している「いきいきカフェ」に、現場職員が順番に参加し、カフェを通して地域の方々	どのようなサービスをしているのか民生・児童委員も分からなかった。関わりを持たない地域の方は、もっと分からないのでは。	今後も継続して、ほのぼのの新聞や運営推進会議を通して、事業所内で行っているサービス内容を分かりやすく説明していきます。「いきいきカフェ」に来られた方に事業所を紹介したり、地域に発信していきます。

D. 地域に出向いて 本人の暮らしを 支える取組み	ケアマネだけでなく現場職員も地域連絡会等の地域の会議に参加して全職員が地域の社会資源の理解を深めるのも一つの方法であり検討したい。	三交代で職員の配置もあり、現場職員が地域連絡会(サービス調整会)に参加することは、出来ませんでした。しかし、ケアマネが参加し得た情報を、職員会議や連絡ノート等で情報を提供し、理解を深める努力をしましたが、まだまだ不足していると思われます。	これまでの説明がなかった為分からな いから、仕方がないのでは。	ご利用者を連れて、その方が暮らしている地域に出向いて行きます。また連続の宿泊サービスを利用されている方は、菟木地区の新しい関係作りを支援していきます。具体的に、前回同様に、公民館祭りや施設交流会に参加し、地域との関係が切れずに継続できるよう支援します。
E. 運営推進会議を 活かした取組み	外部評価で出た意見をどう改善したか報告できるようにします。 運営推進会議で出た意見も事業所内で検討し改善できるようにしていきます。 ①書面や口答伝達だけでなく、ほのぼの新聞や活動の写真等で生活や活動風景面を想像できるようなものにしていく。 ②開催場所を実際の利用者の過ごされている中で行い、紙面だけでなく生の様子も把握していただくことも検討中。①②に関しては継続して行います。	運営推進会議開催時、事業所を見学して意見交換の場を設けることができました。 運営推進会議やほのぼの新聞を通し、事業所での活動報告に写真を記載して、少しでも利用状況等雰囲気を感じて頂けるよう工夫しました。	運営推進会議で出た意見が反映しており、優秀だと思います。	今後も、ほのぼの新聞や運営推進会議を通して、事業所内の活動状況や雰囲気をつかり易く伝えていきます。また改善点を次回の運営推進会議にて報告したり、事例検討等、事業所内の運営について説明していきます。
F. 事業所の 防災・災害対策	防災時の地域(住民)も含めた連絡体制を整える。 緊急時に地域の方に協力を得られるように日頃から何かあった時はお互いが助け合える関係をつくり連携をはかる。 防災訓練が決まり次第、町内会長に連絡し地域住民が集える一つの場になれるようにします。	昨年11月に避難訓練と消防訓練を実施した際、地域の方々にも呼びかけ参加して頂きました。 今後も、自然災害時等、いざという時に協力体制が取れるよう、日頃から地域の方々との連携を密にしていきます。	地域と合同の避難訓練を重ねることで、地域に浸透するのでは。避難訓練・防災訓練の開催時に地域にアピールし、地域の方が少しでも多く参加してもらえるような工夫が必要だと思います。	地域の防災訓練開催時には、地域の方がたくさん参加して頂けるよう呼びかけ等「いきいきカフェ」等を通じて積極的に協力・参加します。引き続き、地域の方に協力を得られるように日頃から何かあった時はお互いが助け合える関係を作り、地区会長との連携を図っていきます。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 1 月 9 日 (13 : 30 ~ 14 : 30)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 宮本・杉森・石丸・森・栗原・鎌田・藤井・樋口

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	5 人	3 人	人	8 人

前回の改善計画	利用開始前に、フェイスシートを活用し、申し送りやカンファレンスをこまめに行い、職員間で情報を共有する。個人ファイルに事前に得た情報を挟み、いつでも閲覧出来るようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	利用開始前にフェイスシートを活用し、申し送りやカンファレンスで情報を共有できたが、もう少しこまめに行えればよかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?		7	1		8
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	1	6	1		8
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?		8			8
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?		5	3		8

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・ 昨年に比べ、カンファレンスや申し送りノートにて迅速に情報を提供し、利用前に情報を共有できた。 ・ フェイスシートの情報で医療ニーズがあれば、介護職員にできるだけ分かり易く説明している。 ・ 利用開始後、日が浅い場合でもいつでも情報の再確認ができる環境にある。 ・ ご家族様への対応は、元気に丁寧に出来ている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・ 時間が経過するとなかなか連絡する事も少なくなったり、連絡帳に色々と記入するも、家族様によっては連絡帳への返答が無い。 ・ ご利用者のご家族様と直接お会いする機会が少なく、なかなかご家族様の不安を受け止められていない。 ・ ご利用者のご家族様によっては遠方におられる為、コミュニケーション不足から聞き取りができていない。 ・ カンファレンスの開催数が少ない。 ・ 事前にご本人様を取り囲む環境を把握できていないと感じる。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・ フェイスシートを活用して、職員間で事前情報を共有できている為、継続する。 ・ 初期の送迎やサービス利用開始時、心身面の体調変化等をこまめに記録に残す。変化が見られた際は、ご家族様にこまめに報告する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 1 月 9 日 (13 : 30 ~ 14 : 30)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 宮本・杉森・石丸・森・栗原・鎌田・藤井・樋口

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	6 人	2 人	人	8 人

前回の改善計画	事業所内でどうしたらご利用者を支えられるか、対応できるかチームで協議し、家族様とも確認をとりながら、支援方法を検討したい。
前回の改善計画に対する取組み結果	ご家族様と確認をとりながら、チームで協議し支援方法や問題点を協議できた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?		6	2		8
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		4	2	2	8
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		4	2	2	8
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	1	7			8

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・日々の生活の中で「～したい」やどんなことをしていきたいかをある程度理解している。 ・「受診時に保険証を持ちたい」という要望に受診用の鞆とコピーした保険証を準備し、受診時持参できるようになったり、散歩したいとの要望に、一緒に館内・外を散歩できた。 ・支援を行う中での新たな問題点や改善が見られた点をミーティング等で振り返り、次の対応に生かした。 ・ご本人様の目標や過程について話し合うよう努めている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・例えば、歩いて家に帰る等 ADL やご家族様のことを考えると、本当のゴールを達成できていない。 ・ご利用者様それぞれの「～したい」の要望を把握できていない。 ・帰宅を目指しているご利用者に対し、歩行訓練等が出来ず、日常生活のみになりがちである。 ・日によっては職員の配置が少ない日もあり、リハビリや歩行訓練ができる職員配置が整っていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・日々の関わりや会話の中で、「～したい」という思い汲み取り、小さな事柄でも記録に残す。出来る範囲内で、ひとつでも多く「～したい」を実現させる。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 1 月 9 日 (13 : 30 ~ 14 : 30)

3. 日常生活の支援

メンバー 宮本・杉森・石丸・森・栗原・鎌田・藤井・樋口

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	6 人	0 人	1 人	8 人

前回の改善計画	体調の変化が気付けよう情報共有して看護師からの助言をもらう。 介護の知識・技術を高めてチームでフォローできるようにしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	体調に変化があれば、まずは看護師に報告し助言を求め指示に従いながら、迅速に対応できた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか?		4	3	1	8
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	1	7			8
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1	4	3		8
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	2	6			8
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	1	5	2		8

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・ 体調や支援方法に変化があった際は、こまめに報告し、助言を求める。 ・ 看護師が不在の際も介護職員間で情報を共有し、迅速に対応できた。 ・ 体調の変化があれば報告を受け、速やかに病院受診や施設内でできる範囲内のケアや助言を行った。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・ 看護師に適切な指示や助言を得られる為の報告の仕方について、指導や教育が出来ていない。 ・ 施設外でのご利用者様を取り巻く生活状況についてきちんと把握できていない。 ・ ミーティング等でご利用者様の声にならない気持ちの代弁等、より細かい配慮が出来ていない。 ・ 職員間で情報を共有する際、うまくできない時がある。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・ 職員会議で、毎月ご利用者を数名に絞って、一人ひとりのケアについて見直したり、理解を深める。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 1 月 9 日 (13 : 30 ~ 14 : 30)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 宮本・杉森・石丸・森・栗原・鎌田・藤井・樋口

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	6 人	1 人	人	8 人

前回の改善計画	今後も現場職員誰もが送迎・訪問していけるよう家族様との関係性も築いていけるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	送迎や訪問は、介護職員全員が対応できるようになった。またご家族様との関わりの中で信頼関係を築く事ができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		6	2		8
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?		6	2		8
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		6	2		8
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		3	5		8

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・送迎や訪問時「他に困った事はないですか?」と声をかけ、ご家族様との関係も構築できている。 ・訪問時、ご家族様からの問い合わせにもすぐに返答が出来る。 ・送迎や訪問を重ねることで、ご家族様との信頼関係が築け、より良い支援に繋がっている。 ・介護職員全員が、送迎・訪問が出来る。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・連泊のご利用者の方が多いため、地域の資源まで把握できていない。 ・ご利用者様のご家族様の中には、やや協力的ではない方もおり、情報を頂けない。 ・民生委員や地域の方との関係等、理解出来ていない部分がある。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・送迎や訪問時、ご家族様から夜間帯も含め、日常生活の状態や変化を聞き取り、記録に残す。 ・ご家族様からの問い合わせや相談時、上司や他職種に相談し、早く返答することを継続して対応する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 1 月 9 日 (13 : 30 ~ 14 : 30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 宮本・杉森・石丸・森・栗原・鎌田・藤井・樋口

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	7 人	1 人	人	8 人

前回の改善計画	今後利用者様の個別性を把握しながら、サービスを提供していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	ご利用者様の個別性に合わせて、急なサービス変更にも柔軟に、迅速に対応ができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?		2	6		8
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	1	3	4		8
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?		6	2		8
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?		7	1		8

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・出来る限り通いや訪問、宿泊もその時のニーズやご本人様の状態に合わせて柔軟に対応できている。 ・特に急な宿泊サービスは、断らず受け入れ出来ている。 ・ケアの個別性を確認できる様にカードックス (個人別ファイル) を作成し、閲覧出来るようにした。 ・ケアマネが関わった支援をケース記録に残し、職員間で共有できるよう工夫した。 ・過去のケース記録を読む事でご利用者様の日々の関わりや支援の変化を職員間で把握出来ている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・個別ケアの充実を図る為のケースカンファレンスがあまり出来ていない。 ・地域を生かした取り組みがあまり出来ていないように感じる。 ・経過に合わせたケアが十分に出来ていないと感じる。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・ご利用者様の体調に変化が見られたら、こまめに記録に残したり、職員連絡ノートや口頭にて職員間で情報を共有する。また引続き、変化が見られたら、小さな事柄でもご家族様に報告・相談する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 1 月 9 日 (13 : 30 ~ 14 : 30)

6. 連携・協働

メンバー 宮本・杉森・石丸・森・栗原・鎌田・藤井・樋口

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	1 人	5 人	2 人	8 人

前回の改善計画	職種に関わらず、地域の諸行事や会議に積極的に参加し、地域との繋がりを広げていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	地域の行事にできるだけ多く参加し、地域の方々との繋がりを広げることができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか?		1	3	5	8
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?			4	4	8
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか?		3	4	1	8
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?		1	5	2	8

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・サービス利用開始の相談に伴い、介護・看護職員が医療機関を訪問し、会議に参加できた。 ・町内会の清掃や地区の合同消防訓練には、地域の方々と協力しながら参加できた。 ・地域の神輿や獅子舞をご利用者と共に楽しむ事ができた。 ・いきいきカフェ（認知症カフェ）に参加し、地域の方々と関わる事ができた。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・地域の会議に参加できてない。 ・その他の機関や地域包括支援センターなど会議に参加できていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・「いきいきカフェ」開催時の参加や地域の清掃を中心に、継続して地域の行事や防災訓練に参加し、地域の方々と交流を深める。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 1 月 9 日 (13 : 30 ~ 14 : 30)

7. 運営

メンバー 宮本・杉森・石丸・森・栗原・鎌田・藤井・樋口

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	4 人	3 人	1 人	8 人

前回の改善計画	今後も事業所内容・地域特性の理解に努める。 事業所間の連携を図り、協力できる体制を作る。
前回の改善計画に対する取組み結果	事業所間で連携を図り、協力する事ができた。事業所や地域の特性については、まだまだ勉強不足である。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?		4	3	1	8
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	6	1		8
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?		2	3	3	8
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?		2	3	3	8

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること ・ 2 ヶ月に 1 度の運営推進会議にて地域の方々から意見を取り入れ、反映することができた。 ・ 他事業所の看護師と連携を図り、看護師不在時の協力体制や体調変化時の情報共有ができた。 ・ 事業所の苦情対策委員として、話し合いや対応をすることができた。 ・ 地域の方々と協力し、環境の美化や防災に取り組むことができた。 ・ ご利用者様やご家族様から苦情があった際は、速やかに責任者に報告できている。責任者も、ご利用者様やご家族様への対応を速やかに行うことができている。
--------	--

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること ・ 事業所や地域の特性について、まだまだ理解できていない。 ・ 地域の方々と関わる機会が少ない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・ 運営推進会議やご家族様から出た意見や苦情を職員会議等で振り返り、業務改善に反映していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 1 月 9 日 (13 : 30 ~ 14 : 30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 宮本・杉森・石丸・森・栗原・鎌田・藤井・樋口

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	4 人	4 人	人	人

前回の改善計画	今後も目標を立てて、スキルを上げたいと思う。 継続して館内外での勉強会・研修会に率先して参加する。
前回の改善計画に対する取組み結果	各個人が個人目標シートを作成し、資格取得やスキルを上げるよう努めた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか		4	2	2	8
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか		3	3	2	8
③	地域連絡会に参加していますか		2	2	4	8
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか		3	5		8

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること ・職場内も含めて、職場外の研修に参加し、知識を深めることができた。 ・過去に参加した研修の資料で参考になった事や学習した事を他の職員に伝達することができた。 ・インターネットや書物で新たな資格取得やスキルアップに取り組んでいる。
--------	---

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること ・勤務時間や形態の都合もあり、現場を離れる事ができず、研修になかなか参加できなかった。 ・勉強不足である。 ・リスクマネジメントについてあまり理解できていない。 ・地域連絡会に参加できていない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・職員各個人で目標を自覚し、主体的に館内外の研修会に参加する。また研修で得た情報や内容を職員会議等で提供し、職員間で共有していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 1 月 9 日 (13 : 30 ~ 14 : 30)

9. 人権・プライバシー

メンバー 宮本・杉森・石丸・森・栗原・鎌田・藤井・樋口

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	4 人	4 人	人	8 人

前回の改善計画	身体拘束や虐待防止の研修に参加し、各自で振り返る。
前回の改善計画に対する取組み結果	研修に参加し、各自で各々振り返ることができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	3	5			8
②	虐待は行われていない	3	5			8
③	プライバシーが守られている	1	7			8
④	必要な方に成年後見制度を活用している		1	4	3	8
⑤	適正な個人情報の管理ができている	2	5	1		8

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・身体拘束や虐待防止について館内の研修に参加している。 ・つなぎ服やミトン手袋の着用等身体拘束について、他職種で意見交換を行った。 ・入浴や排泄等、プライバシーに配慮した支援を心がけている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・スピーチロック（言葉による行動の抑制）を行ってしまうことがある。 ・職員の言葉遣いや表情・態度が適切でない時がある。 ・制度についてある程度理解しているが、活用できていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・言葉による身体拘束も多い為、職員会議等定期的に身体拘束防止について振り返る機会を持つ。	